

13011 児童教育演習Ⅱ t Pupil Education Seminar II		4 年次 通年 4 単位	
担当者	藤田 悟	履修可能学科	Pe必
		関連資格	
サブタイトル	学校・教育のあり方を世界的視野から見直す		
授業内容 ・ ねらい	<p>学校教育は世界の多くの地域で行われている。しかし共通の側面を持つと同時に各地域の文化的歴史的特徴を反映している。たとえば日本には「学校給食」があるがこれは韓国など少数の地域に限られる。日本のような職員室も他の地域にはほとんどない。また学校行事が日本ほど盛んなところはないし、「音・美・体」を重視するのも日本の教育の特徴だ。日本の小学校のようにほとんどかならずプールがあるのも大変珍しい。教育の目的さえ、地域によってずいぶん違った規定がなされている。そういった比較を通して、日本の教育の姿を見直してみたい。</p>		
授業計画	例年、中国と韓国の提携校からの交換留学生を交えて、日・中・韓を中心とした教育文化の比較研究に取り組んでいる。インターネットのサービスを使って成果を交換し、最終的にはレポートをCD-ROMに記録する。	藤田はほぼ毎年、カンボジアとの教育交流に関わっている。オプションでゼミのメンバーにも参加を勧める。(10万円程度の費用がかかるが、アジアンボランティア・サポート基金および学園祭のアジアン・バザールとリンクしているので、資金援助を得る可能性がある。)	
教科書 参考書	参) 藤田らの『Teachers in Different Cultures 第1報告』(1998)を参考資料として使用する。		
評価方法	授業中の討論参加とレポート発表による。自己評価を加味する。		
事前準備学習 履修条件等	インターネットに熟達している必要はないが、最低チャレンジする気持ちは持っていること。アカウント取得からサポートするが、そのあたりをクリアしている方が楽ではある。		